

ALFA ROMEO CHALLENGE・ABARTH CHALLENGE 2023 レギュレーション細則



0. アルファロメオチャレンジ・アバルトチャレンジ開催趣旨

- 0-1 アルファロメオ製(Fiat(7A 枠含む))製車両を用いて、アルファロメオ(Fiat(7A 枠含む))愛好家が自ら車輛を操縦し、競技に参加し、競争を楽しむアマチュアクラフトマンのレースである。
- 0-2 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオES30(含む)以降に 製造された、比較的新しいアルファロメオのクラス、アバルトチャレンジでは比較的新しいFiat(7A 枠含む)のクラスを称してモデルナクラスと呼ぶ。
- 0-3 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオES30(含む)以前に 製造された、比較的古いアルファロメオのクラス、アバルトチャレンジでは比較的古いFiat(7A 枠含む)のクラスを称してヒストリッククラスと呼ぶ。

1. 参加資格とカテゴリー

- 1-1 ドライバーの参加資格
参加者は、普通運転免許証を持ち、少なくともサーキットフラッグの意味を理解しそれに従うことができること、また、競技規則を守るとともに他の競技者に敬意を払うことができる者であること、以上の条件を満たした上で、ARCAの会員であること、加えて、サーキット走行経験を有する必要がある。ただし、レース入門クラスのAR120は会員である必要はない。
また、グッドスタートを行わないAR100・AB100・ARL一般走行会・体験走行等は会員でなくても参加できる。また、サーキット経験の有無を問わない。
アルファロメオ・アバルト車両であれば、年式・車種を問わず参加資格を有し、車種・仕様・改造程度等により、いずれかのクラスに参加資格を有するものとする。
SR・AR100・ARLクラスに関しては、ヒストリック・モデルナ・車種・仕様・改造程度等に関係なくアルファロメオ車両、AB100・ARLクラスはFiat(7A 枠含む)車両であれば参加できる。
ただし、このクラスも本規則に定める「4. 車両安全規定」「5. 車両改造規定」を満足しない車両は参加できない。
- 1-2 ヒストリック・モデルナの参加車種
ヒストリック・モデルナの参加車種は以下に示すとおりとする。
(1)ヒストリックヒストリックへの参加車種は、原則としてES30(含む)以前のアルファロメオ車とし、以下に示す車種とする。 モデルナに例示している以外のFiat(アバルト含む)車は、車種ごとに相談
参加可能車種例示・ TIPO160全車種/TIPO101全車種/TIPO105全車種(含モントリオール)/TIPO115全車種/TIPO116のうち4気筒エンジン搭載全車種/スズク全車種/33全車種/
GTV6/75全車種/SZ&RZ全車種(ES30)/またはES30以前に製造された全車種
(2)モデルナ:モデルナへの参加車種は、原則としてアルファロメオES30(含む)以降の以下に示す車種のアルファロメオ車。また、以下に示す車種のFiat車とする。
参加可能車種例示・ SZ&RZ(ES30)/164/155/146/145/GTV/SPYDER/156/147/GT/159/Brera/Mito/Giulietta/Giulia 以上全車種、その他以降製造の全車種
※ 8Cは事務局に相談の上、参加者の経験値等により、出場可否を判断する。
7A 枠含むFiat車(500/07年〜、アバルト/83年〜、バグダド/03年〜、バグダド/95年〜、124M/16年〜) その他は車種ごとに相談
- 1-3 ヒストリック・モデルナ参加車種に関する補足並びに特例
(1)「1-1」に例示した車種以外のアルファロメオ車が参加を希望する場合は、当該車両の車種・仕様・改造程度などからいずれのクラスに該当するかを事務局が判断・決定するものとする。
(2)「1-3」ヒストリック・モデルナの参加車種に例示した車種であっても仕様・改造程度によっては特例として他クラスへの参加車種とすることがあり、その判断は事務局が行う。

2. 車種の区分

- 2-1 希望クラス申請、事務局によりクラス分け。
下記のクラス分けが基準となるが、入会・更新時に希望クラスを申請。車両改造範囲、過去の実績により事務局がエントリークラスを決定する。車両規定にかかわらず、その人の経験・車両の状態により上位・下位と規定に外れたクラスを希望することが可能。(排気量が異なる場合も含む) また、地区によっては下記以外に独自クラスを開催する場合がある。
- 2-2 ヒストリック・モデルナ共通参加クラス。
・SR(スーパーレーシング):SR-MRの上位に位置し、ヒストリック・モデルナに関わらず車両規定を満たすすべてのアルファロメオ/Fiat(アバルト含む)が参加可能。最速を競うクラス。
車種により、SRとSR2に分かれる。(SR2からSRへの移行は可能。)また、現状で否かに関わらずプロドライバーはこのクラスとする。(AB150-GTV-Mito-Giulietta)
▲ SR / 基本的には3.2L以上全車種と156-3.0 ▲ SR / 3L以下全車種(ただし156-3.0は除く) ※ 147CUP・GTV-CUPならびにターボ車含む(155-GTV-Mito-Giulietta)
・AR100・AB100:入門級として(特にサーキット初心者)が幅広(参加しやすい)よう設置されたクラス。実績のあるドライバー等、趣旨に合わない場合参加不可。また3位以上入賞のドライバーは、次戦以降このクラスには参加出来ない。(参加5台以下の場合除く) 特に改造に関する規定は設けず。(3.安全規定、4.車両安全規定)を満たすすべてのアルファロメオ/AR100、ならびにFiat(アバルト含む)/AB100で参加可能。
・ARL(レディース):女性専用クラス。女性が参加しやすいよう設置のクラス。特に改造に関する規定は設けず。(3.安全規定、4.車両安全規定)を満たすすべてのアルファロメオ・アバルト車で参加可能。
- 2-3 ヒストリック車種のクラス。
・HTA200:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が2000cc以下のTA(トランスアクス)車種。(7A7エッジ・GTV6-75-ES30等) ・HTA300:HTA200同様の内容で2001cc以上の車種。
・H130:車種規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が1300cc以下のTA(トランスアクス)車種。(車種により14クラスに細分化) ・H160:H130同様の内容で、実排気量が1600cc以下の車両。
・H180:H160同様の内容で、実排気量が1800cc以下の車両。 ・H200:H180同様の内容で、実排気量が2000cc以下の車両。
・HR(ヒストリック・レーシング):上記の車種規定を満足しないヒストリック車種または過給機付の車種。ただし往時を重視し改造の範囲内とする。
・HSR(ヒストリック・レーシング):HRの範囲を超えた、車種・ドライバー。または、発売当時のオリジナリティを重視し改造を施した車種。
モデルナ車種のクラス。
・AR120:レース入門クラス(AR100のレース版)、入賞者は次回参戦不可。(AR150へステップアップ/参加3台以下の場合除く) 車両規定は下記AR150・AB150適合車種。 ARCA入会不要(7A 枠対象外)
・AR150:車種規定(参加車両の改造範囲)を満足し、ラジアルタイヤを装着するモデルナルファロメオ車両。(車種により14クラスに細分化)
AR150の仕様例示 AR150-0=ジューリット AR150-0(相当)=4C AR150-1=3.2L全車種 GLT(150-1(相当)=ジュリエッタ1.75 GLT2(150-2(相当)=ジュリエッタ1.4 AR150-2=156V6,
GTV&Spider3.0,GTV2.0TB,155Q4,166(2.5,3.0),ES30, AR-Mito(150-2(相当)=Mito)※ AR150-3=156TS,JTS AR150-4=145TS,147TS,155V6,GTV2.0 AR-GT(150-4(相当)=GT ※ 2
AR150-5=155TS,146,SPIDER2.0 AR150-6=セズベド,Q-system(3.2L除く),TCTも可 AR150-9=159,BreraSpider(939系) ※ 3
※ SR-SR2:実績あるドライバーは-Rとする。 ※ 2 暫定的にAR-GTクラスに3.2Lも出場可能とする。AR150-4
GT3.2はAR150-1も選択可能。 ※ 3 AR-GT-150-9において3.2Lで優勝した場合は後述のクラスアップを推奨。(参加台数が少ない場合は除く) ※ AB150設置に伴いAR150-8は一旦廃止。
※ 150-9のJTSは150-4,3.2Lは150-1以上とする。 AR-GTの2は150-4,3.2Lは150-1以上とする。GT2はAR150-4
※ 150-9-AR-GTに限り、途中でのクラス変更の場合、それまでに獲得したポイント×0.8を変更したクラスへ移行可能とする。(端数は切り捨て)移行は本人からの申請があった場合のみ。
・AB150:車種規定(参加車両の改造範囲)を満足し、ラジアルタイヤを装着するFiat(アバルト含む)車両。(車種により14クラスに細分化) 触媒は純正のみとし、個数の変更は不可とする。(AB150-0除く)
AB150の仕様例示 AB150-0=カシカタービンを変更する7A 枠 AB124(150-0.5(相当)=7A 枠124 AB150-1=速い実績ある7A 枠(124除く) AB150-2=7A 枠500-クラフト AB150-8=アバルトHGT等
<クラスアップ>AR150・AB150クラス内で車種が該当するクラスより数字の少ないクラスへの参加は原則自由。(AR150-3の車種でAR150-2出場、AR150-6の車種でAR150-3出場等)
アルファロメオ・アバルトの上位クラス(AR250・AR300・MR300・SR2・SR等)への移行も可能とする。ただし、ALFA ROMEO CHALLENGEの賞典(盾)となる。 ※ SR-SR2:実績あるドライバーは-Rとする。
・AR200:車種規定を満足し、実排気量が2000cc以下のモデルナ車種。ただし、155とQ-system車種は2500ccまでこのクラスとする。
・AR250 : 車種規定を満足し、実排気量が2000cc以下のモデルナ車種。また過給機付車種はこのクラスとする。159,Brera&Spider等の2.2JTS車種もこのクラスとする。
・AR300:車種規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が3001cc以上のモデルナ車種。
・MR200:AR150・AR200・AR300の車両規定を逸脱する。実排気量が2000cc以下のモデルナ車種。ただし155は2500cc以下の車両及び156N1。また3000cc以下のAT車種。
※ 暫定的に 159JTS2.2L,156V6-2.5LのMR200参加を可能とする。 2020年度からMito は不可。(MR300対象とする。)
・MR300:AR150・AR300の車両規定を逸脱する。実排気量2001cc以上のモデルナ車種。及び過給機付車種。ただし155は2501cc以上。

3. 安全規定(共通)

- 3-1 難燃性の長袖長ズボンで、運転に支障のない服装を着用すること。JAFもしくはFIA公認のレーシングスーツの着用を強く推奨する。
 - 3-2 フルフェイスもしくはジェットタイプのヘルメットの着用を義務付ける。SNELL規格もしくはJIS規格に適合するレース用ヘルメットの着用を強く推奨する。 また、HANSデバイスの装着を強く推奨する。
 - 3-3 オープンカーの場合はフルフェイスタイプを義務付ける。ドライビンググローブを義務付ける。レーシングシューズの着用を強く推奨する。
 - 3-4 レース用グローブの着用を義務付ける。指先の露出する物、手首の露出した物は不可。
- ### 4. 車両安全規定(共通)
- 4-1 ホットラック、ブレーキ、ブレーキランプ、ワイパーなどすべてのランプ類は正常に点灯機能すること。ガラス・プラスチックレンズ部分すべてをテープ(出来るだけ透明)で飛散防止処理を施すこと。
 - 4-2 安全ベルトはモデルナAR・AB各クラス以外では4点以上のフルハーネスを義務付ける。ただし4点の3ポイントが可。モデルナAR・AB各クラスは4点以上のフルハーネス推奨。
 - 4-3 バッテリーおよび配線は確実に固定されていなければならない。場合によっては、コンタクトケーブル、ケーブル等固定された安全性の高いものを使用しなければならない。
 - 4-4 ブレーキ・イグニッション装置を取出している車両に関しては、ブレーキ・イグニッションに流出することを防ぐ確実なブローアバリアを適切に設置する義務を課するものとする。取付も確実にボディに固定されていなければならない。
 - 4-5 排気管は後方もしくは側方に向け、燃料系に対し十分な防護措置を講じなければならない。
 - 4-6 ヒットカッス各クラスSR/MRクラスは、ロールオーバー、ロールバーの装着を強く推奨する。レース各クラス参加のオープンカーはサーキット走行に際して有効なロールオーバー、ロールバーの装着を義務付ける。(4C-124は、純正ロード状態可。その他AR/MRは純正でも可の場合あり)また装着に際しては6点式以上を強く推奨する。ただし、グッドスタートを行わないAR100走行会等はロールオーバー、ロールバーの装着を強く推奨する。
 - 4-7 カットオフスイッチの装着を強く推奨する。安全燃料タンクの装着が望ましい。
 - 4-8 フロントウィンドシールドは合わせガラスが望ましい。
 - 4-9 走行時は牽引フックの装着を義務付ける。取り付け方法も確実にフレーム等に固定されていなければならない。前後装着を強く推奨する。

5. 参加車両の改造範囲(特に記載の無い場合は全てのクラスを対象とする)

- 5-1 エンジンブロックの交換はヒストリック/モデルナ各々、出場するクラスに出場可能な車種に搭載されているブロックの範囲内で交換する場合のみ異なる排気量でも可。
- 5-2 気筒数の変更、ピストンリング、ピストン、コンロッドは交換可。ただしモデルナはSR-MRクラスのみとし、排気量の変更も当該クラスに変更すること。
- 5-3 シリンダーヘッド交換は、そのクラスに出場可能な車種に搭載されていたヘッドの範囲でのみ交換可。ポート研磨、ヘッド面研磨などヘッド加工は可。ただしモデルナはSR-MRクラスのみとする。
- 5-4 キャムシャフト、バルブ、バルブスプリングは自由。ただしモデルナはSR-MRクラスのみとする。
- 5-5 フライホイールは変更、加工とも自由。ただしモデルナはSR-MRクラスのみとする。
- 5-6 潤滑系統はHSR/HR/SRのみドライビング自由。ただし潤滑系統の接続は確実なものとし、ホースバインドは不可。
- 5-7 オイルクーラーの追加は可。その場合取り付け位置が車体内に収まり、ホース・フィッティングが外れる事のないように固定すること。
- 5-8 冷却系統の変更は自由。この場合も車体内に収まり確実に固定すること。
- 5-9 吸気装置はキャプレーターからインジェクションへの変更は不可。インジェクションからキャプレーターへの変更は可。
4-4規定によりダイレクト吸気装置の場合ブローパガスの大気開放は禁止。この場合オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。セパレーターなどの簡易装置は禁止。
- 5-10 排気系統の交換は自由。ただし有効な消音装置の装着を義務付ける。 AB150のみは、触媒装置の変更・個数の変更とも不可。純正状態のままに限る。(AB150-0除く)
- 5-11 点火プラグ交換は自由。 点火装置の変更追加は自由。
- 5-12 7A 枠は、ターボ車のターボ交換はSR-MRのみ可。ただしAR-Mitoクラスに純正ターボは「グレート」に関係なく装着可能とする。(TCTにQVタービン等) SR以外は、ジュリエッタ・ミト・ギウリエッタの7A 枠の7A 枠使用不可。(SR2不可) AB150-0以外のAB150クラスは、FIAT社が新車販売時にその7A 枠に装着していたカシカタービン以外への換装不可。
- 5-13 クラッチは交換自由。
- 5-14 ギアボックスはオリジナルのケースを使用すること。 モデルナでは、ギア比の変更はSR-MRクラスのみ可とする。(AR-ABクラスでは不可)
- 5-15 最終減速装置は生産時にアルファロメオ/Fiat一般市販車に搭載されているデフケースを使用すること。この場合差動装置を追加することは可。 モデルナでは、SR-MRのみファイナル変更可とする。
- 5-16 ホイル、スペアタイヤは自由。ただしホイールの幅及びオフセット値の変更はタイヤを装着した状態でフェンダー内に収まるサイズまでとする。
- 5-17 タイヤは一般市販タイヤであること。レーシングタイヤ(スリック、カットスリック、オールウェザー、レーシングレイン)などは禁止。フェンダー内に収まるサイズまでとする。
- 5-18 ショックアブソーバーの変更は可。 スプリングの変更は可。
- 5-19 サスペンションアームにH130・H160・H180・H200は形式の変更、改造は不可。その他のクラスは寸法形状ともに自由。
- 5-20 スタビライザーの追加変更は可。この場合スタビライザーエンド部のピロボール化も可。
- 5-21 ブレーキローターに、寸法形状ともに自由。
- 5-22 ブレーキパッド(シュー)は交換自由。倍力装置は取り外し変更可。
- 5-23 ブレーキキャリパー変更はヒストリックは、4ポイントキャリパーの範囲内で交換可。モデルナは自由。
- 5-24 ステアリングホイールは交換可。
- 5-25 ベダル類は交換可。
- 5-26 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアーム取り付け 支点の位置変更は不可。
- 5-27 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアームの追加は不可。アルファ伝統のいわゆるCRBBシステムは許される。

6. 車体形状および改造範囲

- 6-1 ウィング、スポイラー、オーバーフェンダー等の取り付けは、H130・H160・H180・H200クラスは認めない。HRクラスでは当時の形状と同一のオーバーフェンダーのみ認めるが、取り付けは必ずしもボルトナットなどで確実に固定すること。HSR及びモデルナでは車体寸法内に収まる物に限るが、取り付けは必ずしもボルトナットなどで確実に固定すること。
- 6-2 開口部は形状の変わらない樹脂または軽金属製の交換可。ヒストリックは「ボルト」の追加禁止。7A 枠は可。すべて走行中に開かないよう、または7A 枠などで確実に固定すること。
- 6-3 パン・バグ・カー・アールはヒストリックでは変更、取り外しは認めない。7A 枠は取り外しは認めない。ただし軽金属製の交換可。この場合インボルト、取り付けは純正を使用すること。
- 6-4 座席は取り外し、交換ともに自由。運転席の固定は必ずボルトナットで確実に固定すること。ただし、AR150・AB150クラスは取り外し不可。
- 6-5 窓ガラスは、フロントウィンドーを除く(他の窓ガラスを透明な他の材質に変更することは可。ただし、AR150・AB150・AR200・AR300クラスは不可)。
- 6-6 ダッシュボードの変更、交換は認められるが、取り外しは不可。
- 6-7 バッテリーの変更、搭載位置変更も可。ただし、車室内に位置変更する場合は有効な仕切り隔壁により車室と隔離しなければならない。
- 6-8 ヒストリック車種の最低重量はH130/800kg(750-101は720kg)、H160/810kg(750-101は730kg)、H180/830kg(750-101は750kg)、H200/850kg(750-101は770kg)とする。これ満たさない場合はHR-HSRクラスとする。(HTA200-300は除く)